

こうべ障がい者芸術フェスタの愛称&シンボルマークが決定しました

2017年度から、新たに開催される障がい者の芸術作品展「こうべ障がい者芸術フェスタ」の愛称とシンボルマークを9月1日から10月31日まで公募により募集したところ、全国から愛称33点、シンボルマーク25点の応募をいただきました。

ありがとうございます。

選定につきまして、こうべ障がい者芸術フェスタ実行委員のみなさまの審査の結果、以下のとおり決定しました。

[愛 称]

「HUG+ (ハグ・プラス) 展」

[シンボルマーク]



■提案趣旨

障がい者アートの先駆的指導者、福来四郎（神戸市立盲学校）の生徒の立体作品に、「しっかり抱いて」というタイトルの作品があり、出展者・鑑賞者を優しく包み込むような展覧会になること、さらに展覧会が、何かしら参加者にプラスの効果をもたらす事を願って「プラス」を加えています。

■提案者

特定非営利活動法人 ライフスペース・プロペラ

シンボルマークイラスト 四元雄飛（よつもと ゆうひ）さん

[盲児の粘土像「しっかり抱いて」(小5 女児)をモチーフにして]

たくさんのご応募ありがとうございました。

